



KONISHI REPORT

.....

第98期 株主通信

第2四半期累計期間

2022年4月1日～2022年9月30日

.....

 **コニシ株式会社**

証券コード：4956



代表取締役会長 横田 隆



代表取締役社長 大山 啓一

当該四半期期間の世界経済は、新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の両立に向けて、生活の正常化が進む中、世界的なインフレや各国の金融引き締め政策の影響、地政学リスクによる原材料の高騰など、依然、厳しい状況でした。今年4月から6月までの実質国内総生産は、前四半期と比べた実質の伸び率が年率換算プラス2.2%であったものの、8月の実質国内総生産は前月比0.3%と鈍化傾向となっており、景況感の悪い中国や欧州の動向を注視することが必要な状況です。

このような事業環境の中、当社グループにおきましては、行動制限の緩やかな解除に伴い、建築・土木分野の需要が復調し、補修・改修・補強向け売上高が、ボンド、工事、両セグメントともに、好調に推移しました。一方で、急激な円安進行および、ウクライナ情勢影響により、原材料コストが大きく上昇、収益を圧迫しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高581億48百万円(前年同四半期比7.8%増)、営業利益28億86百万円(前年同四半期比15.8%減)、経常利益32億32百万円(前年同四半期比11.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2021年8月24日

公表の「固定資産の譲渡および特別利益の計上に関するお知らせ」のとおり固定資産売却益を計上したことから、70億30百万円(前年同四半期比195.2%増)となりました。

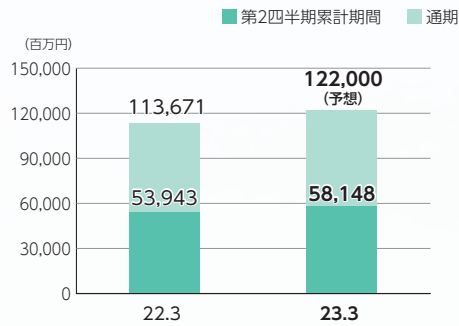
さて、当社は、1952年に合成接着剤「ボンド」を開発し、今年、販売70周年を迎えました。1952年に製袋用「ボンド CFシリーズ」や製本用「ボンド Bシリーズ」を、その翌年に木工用「ボンド CHシリーズ」といったこれまでにない接着剤を販売し、それらは各業界での製造プロセスを大きく変える製品となりました。その後も市場の要望に応え、建築物の補修・補強を行う補修材など、さまざまな製品を販売してまいりました。現在は、接着剤に難燃性や放熱性などの機能を持たせた、高付加価値製品の製品開発を進めております。今後も、これまで培ってきた技術や知見を生かし、市場や社会が求める製品を販売してまいります。

株主の皆様には今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

第2四半期累計期間 連結財務ハイライト (2022年4月1日～2022年9月30日)

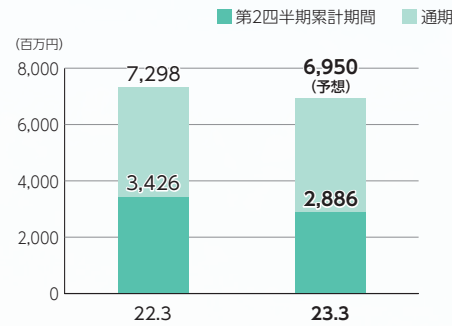
売上高

58,148 百万円 前年同四半期比 7.8%増 ↗



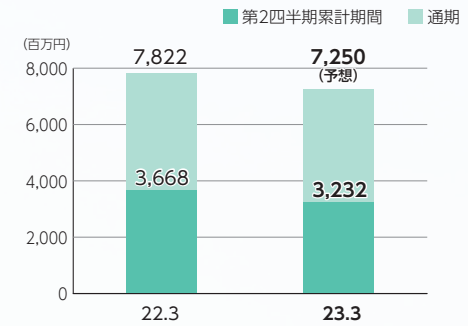
営業利益

2,886 百万円 前年同四半期比 15.8%減 ↘



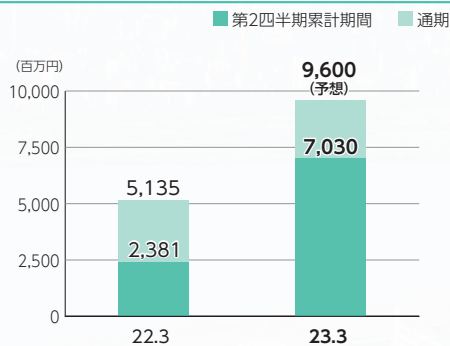
経常利益

3,232 百万円 前年同四半期比 11.9%減 ↘

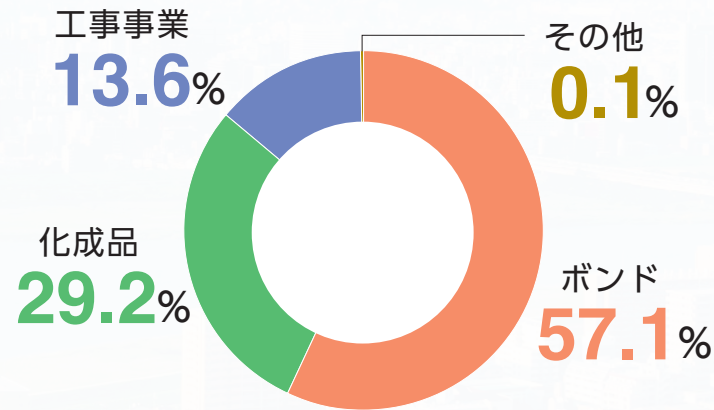


親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益

7,030 百万円 前年同四半期比 195.2%増 ↗

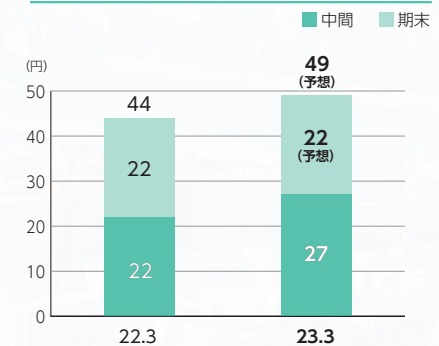


セグメント別売上高構成比

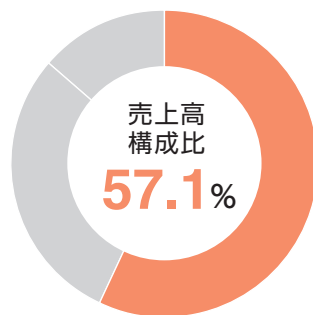


1株当たり中間(期末)配当金

27 円



ボンド



売上高
33,196 百万円
前年同四半期比
+8.5%

営業利益
1,778 百万円
前年同四半期比
△21.0%

セグメント 構成

コニシ(株) ボンド営業本部 土木建設営業本部
サンライズ(株) ウォールボンド工業(株) 水口化学産業(株) ボンドケミカル商事(株) ボンド物流(株) KB LINE(株)
科昵西貿易(上海)有限公司 科陽精細化工(蘇州)有限公司
Konishi Lemindo Vietnam Co.,Ltd.(ベトナム) PT. Konishi Lemindo Indonesia(インドネシア)
Kony Sunrise Trading Co.,Ltd.(タイ)

当第2四半期連結累計期間の概況

一般家庭用分野

コンビニエンスストア向け、ホームセンター向けともに需要が堅調であり、昨年同期並みの売上となりました。



住宅関連・産業資材分野

住宅関連においては、内装施工用、内装建材用接着剤や、戸建住宅の外装に使用されるシーリング材の売上が増加しました。産業資材分野では、紙関連用途向け水性接着剤や、自動車、電子部品等に使用される接着剤が好調に推移しました。



土木建設分野

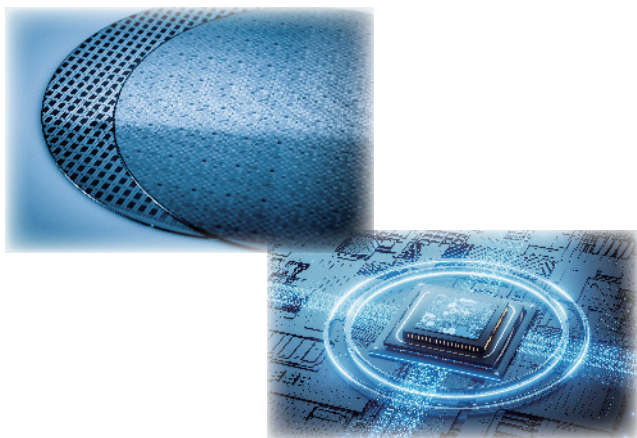
土木用においては、コンクリートの剥落を防止する表面保護用の材料の売上が増加しました。建設用では、建築物などの補修・補強に使用する補修材や建築用シーリング材が好調に推移しました。



事業内容

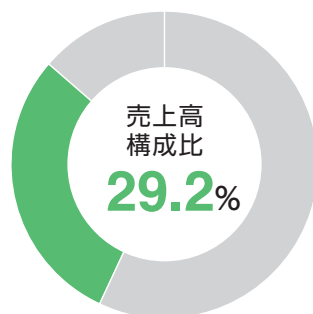
「ボンド」ブランドの接着剤、シーリング材、工業用テープ、離型剤、ワックスなどを製造するメーカーとしての活動を行っております。ボンドセグメントが関わる分野は、住まいの内外装工事に使用される住宅関連分野、工場の生産ラインで使用される産業資材関連分野、工作・DIYで使用される一般家庭用関連分野、ビル・マンション、橋・トンネルなどを維持・補修・改修する際に使用される土木建設関連分野など多岐にわたります。浦和と大阪に研究開発拠点を備え、新製品の開発・改良を行っております。生産拠点は栃木工場・滋賀工場の2拠点で、栃木と滋賀には自社で物流センターを構えております。

化成品



事業内容

企業間を結ぶ化学品専門商社として、メーカーから原料などを仕入れて、ユーザーに販売する活動を行っております。化学品、塗料、電子電機、自動車などの分野を中心に、中国・台湾・タイ・インドネシアの海外拠点とも連携を図りお客様のニーズにお応えしております。また、2017年に新設しました材料科学研究所と連携し、自社技術を生かしたコニシならではの提案型商社の構築を目指してまいります。



売上高
16,962 百万円

前年同四半期比

+8.3%

営業利益
679 百万円

前年同四半期比

+38.9%

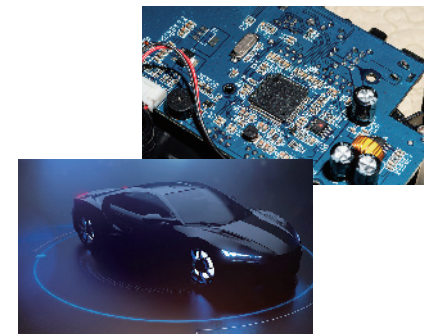
セグメント 構成

コニシ(株) 化成品事業本部 丸安産業(株) 台湾丸安股份有限公司
科呢西貿易(上海)有限公司 PT.KONISHI INDONESIA (インドネシア)
Kony Sunrise Trading Co.,Ltd. (タイ)

当第2四半期連結累計期間の概況

自動車分野、電子電機分野

自動車分野においては、半導体等の不足により、自動車生産台数は減少傾向にあったものの、当社においては、車載電子部品に使用される商材の売上が増加しました。電子電機分野では、半導体製造用、コンデンサ用の商材が好調に推移しました。



化学工業分野

化学工業分野においては、樹脂原料や放熱用材料が好調に推移し、売上が増加しました。

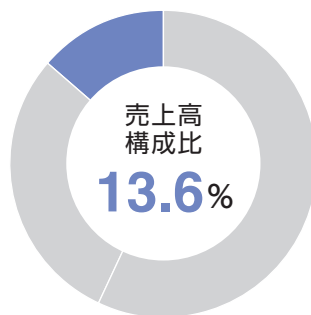


工事事業



事業内容

現在では過去に建てられた建築物ストックや社会資本ストックを、補修・改修してより長く利用できるように維持管理していく時代になっております。社会インフラ、建築物ストック市場の維持・補修・改修などを目的として関係会社を中心に工事請負事業を主たる事業として行っております。



前年同四半期比

+4.3%



前年同四半期比

△28.6%

当第2四半期連結累計期間の概況

土木建設工事分野

土木建設工事分野では、橋梁や鉄道関連など、社会インフラおよび建築物ストック市場の補修・補強・改修工事の売上が増加しました。



コンクリート表面保護



連続繊維シート補強



鋼板補強

セグメント 構成

ボンドエンジニアリング(株) 近畿鉄筋コンクリート(株)
コニシ工営(株) 角丸建設(株) (株)和泉

その他

不動産賃貸業となり、売上高は92百万円(前年同四半期比5.0%減)、営業損失は30百万円(前年同四半期は40百万円の営業利益)となりました。

セグメント 構成

コニシ(株) 不動産部門

JLPGA レジェンズツアー「ボンドカップ」を開催しました

2022年8月3日、4日に当社主催、日本女子プロゴルフ協会公認のJLPGA レジェンズツアー「ボンドカップ」を近鉄賢島カンツリークラブ(三重県志摩市)で開催いたしました。

レジェンズツアーは、45歳以上の女子プロゴルファーを対象に、生涯スポーツとしてのゴルフの普及・拡大、社会貢献活動を目的としたツアーとなります。

当ツアーでは、当社ブランドである「ボンド」を大会名とし、YouTubeでの生中継と録画映像の配信、会場に「ボンド 木工用」の特大バルーンの設置、業界紙への掲載など、「ボンド」ブランドや社名を広く知っていただくための取り組みをいたしました。



工作教室を開催しました

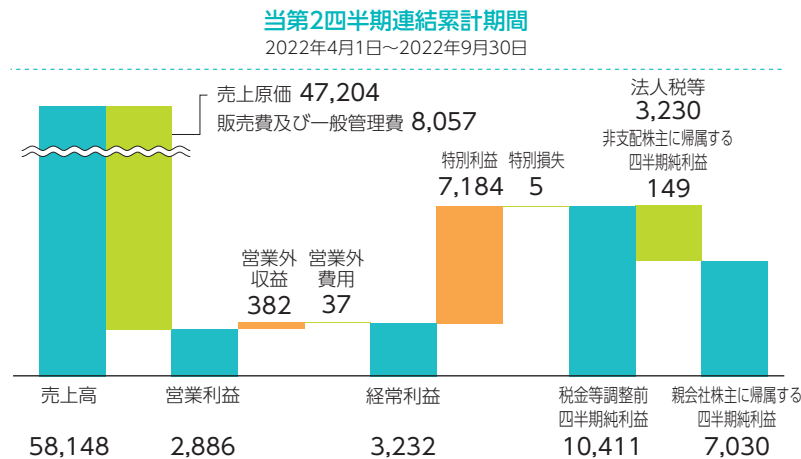
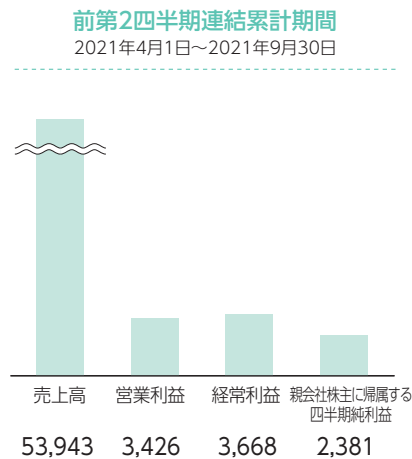
2022年7月30日に小学生向けに「工作教室」を開催いたしました。「ボンド 裁ほう上手スティック」や「ボンド ウルトラ多用途SU」を使用してティッシュケースづくりを体験していただきました。接着剤を使い分けることで、接着する物によってさまざまな接着剤があることを知っていただきました。また、接着剤の特長や安全な使い方などの講義を行い、知識を深めていただきました。

当社は、「ものづくり文化の普及」を掲げており、化学メーカーとして、子供たちが化学に興味を持ってもらえるような活動へ参加し、ものづくりの楽しさや喜びを伝えていきたいと思っております。



● 連結損益計算書

(百万円)



POINT

1 資産

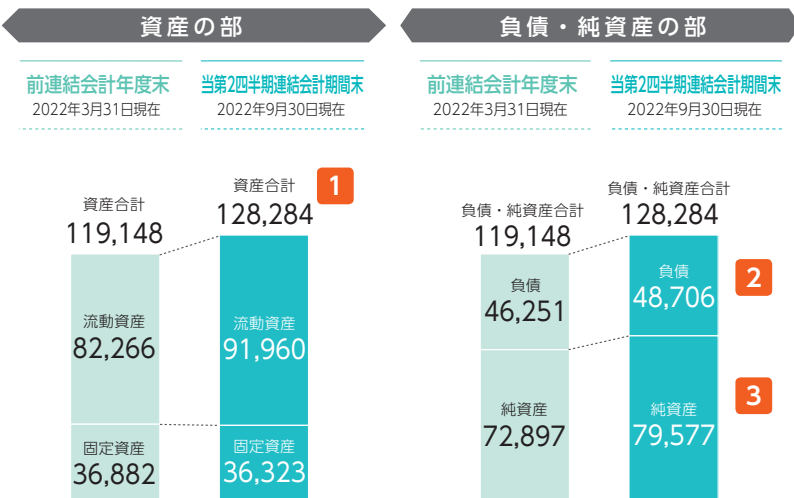
流動資産は、受取手形、売掛金及び契約資産が19億15百万円減少したものの、現金及び預金が81億26百万円、電子記録債権が23億97百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ96億94百万円増加しました。固定資産は、有形固定資産が3億43百万円、投資有価証券が1億13百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ5億58百万円減少しました。

2 負債

流動負債は、電子記録債務が2億87百万円減少したものの、未払法人税等が18億66百万円、支払手形及び買掛金が17億21百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ24億45百万円増加しました。固定負債は、長期借入金が1億16百万円減少したものの、退職給付に係る負債が63百万円、その他が63百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ10百万円増加しました。

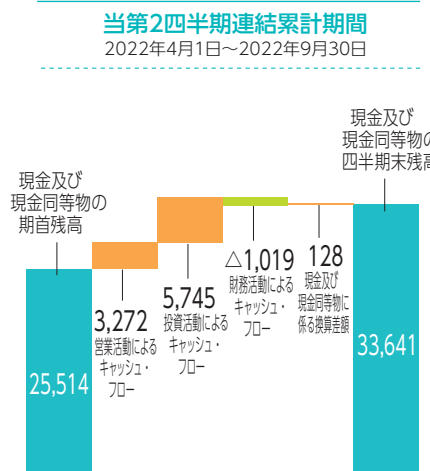
● 連結貸借対照表

(百万円)



● 連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)



3 純資産

純資産は、利益剰余金が62億46百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ66億80百万円増加しました。

国内

滋賀工場

滋賀物流センター

大阪研究所

札幌支店

栃木物流センター

新潟営業所

仙台営業所

金沢営業所

栃木営業所

前橋営業所

千葉営業所

東京
サテライトオフィス

横浜支店

本社

姫路営業所

広島営業所

高松営業所

静岡営業所

名古屋支店

滋賀営業所

福岡支店

沖縄営業所

浦和研究所

材料科学研究所

関東支社

栃木工場

海外

中国

科陽精細化工(蘇州)有限公司

科昵西貿易(上海)有限公司

台湾

台湾丸安股份有限公司

タイ

Kony Sunrise Trading Co., Ltd.

Konishi Lemindo Vietnam Co., Ltd.

ベトナム

PT.KONISHI LEMINDO INDONESIA

PT.KONISHI INDONESIA

インドネシア

会社概要

(2022年9月30日現在)

- 設立 1925年(大正14年)9月25日
- 資本金 46億3百万円
- 従業員数 連結1,549名、単独752名
- 証券コード 4956
- 事業所
 - 本店 〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目6番10号
 - 本社 〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目7番1号
北浜コニシビル
 - 関東支社 〒338-0832 さいたま市桜区西堀5丁目3番35号
 - プラント拠点 東京
 - 支店 名古屋、福岡、横浜、札幌
 - 営業所 仙台、新潟、栃木、前橋、千葉、静岡、金沢、滋賀、姫路、高松、広島、沖縄
 - 製造拠点 栃木工場、滋賀工場
 - 研究所 浦和研究所、材料科学研究所、大阪研究所
 - 物流拠点 栃木物流センター、滋賀物流センター

役員

(2022年9月30日現在)

- | | | | |
|------------|-------|--------------|--------|
| 代表取締役会長 | 横田 隆 | 社外取締役(監査等委員) | 川田 憲治 |
| 代表取締役社長 | 大山 啓一 | 社外取締役(監査等委員) | 中田 基之 |
| 取締役専務執行役員 | 日下部 悟 | 社外取締役(監査等委員) | 山田 美樹 |
| 取締役専務執行役員 | 有澤 彰三 | 常務執行役員 | 井上 孝一郎 |
| 取締役常務執行役員 | 松端 博文 | 執行役員 | 川竹 正敏 |
| 取締役常務執行役員 | 巖 利彦 | 執行役員 | 岡本 伸一 |
| 社外取締役 | 高瀬 桂子 | 執行役員 | 藤 善敏史 |
| 社外取締役 | 木村 亮 | 執行役員 | 向井 義浩 |
| 取締役(監査等委員) | 榎本 真也 | 執行役員 | 佐野 直哉 |
| | | 執行役員 | 泉谷 憲一郎 |
| | | 執行役員 | 齋藤 文伸 |

WEB SITE

ホームページ紹介



当社ホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報について積極的に情報開示を行っております。
より深くご理解いただくためにも、ぜひご利用ください。

アドレス

<http://www.bond.co.jp/ir/index.html>



株式の状況

(2022年9月30日現在)

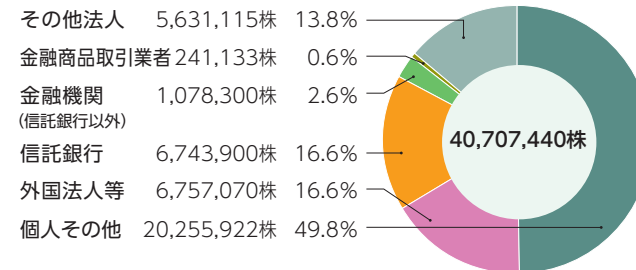
発行可能株式総数……………160,800,000株
 発行済株式の総数……………40,707,440株
 1単元の株式数……………100株
 株主数……………4,301名

○大株主 (上位10名)

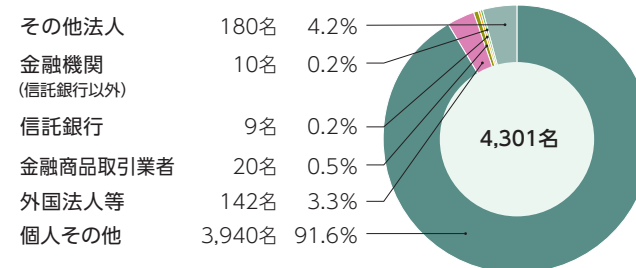
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	4,619,600	12.94
コニシ共栄会	2,355,300	6.60
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,273,100	3.56
AVI JAPAN OPPORTUNITY TRUST PLC	1,037,800	2.90
AVI GLOBAL TRUST PLC	858,350	2.40
コニシ従業員持株会	741,571	2.07
株式会社カネカ	684,000	1.91
小西哲夫	633,900	1.77
小西新太郎	578,168	1.62
三菱UFJ信託銀行株式会社	540,000	1.51

(注1) 日本マスタートラスト信託銀行株式会社、株式会社日本カストディ銀行の所有株式はすべて信託業務に係る株式であります。
 (注2) 出資比率は、自己株式(5,028,753株)を控除して記載しております。
 また、小数第3位以下を切り捨てて表示しております。

○所有者別株式数の分布状況

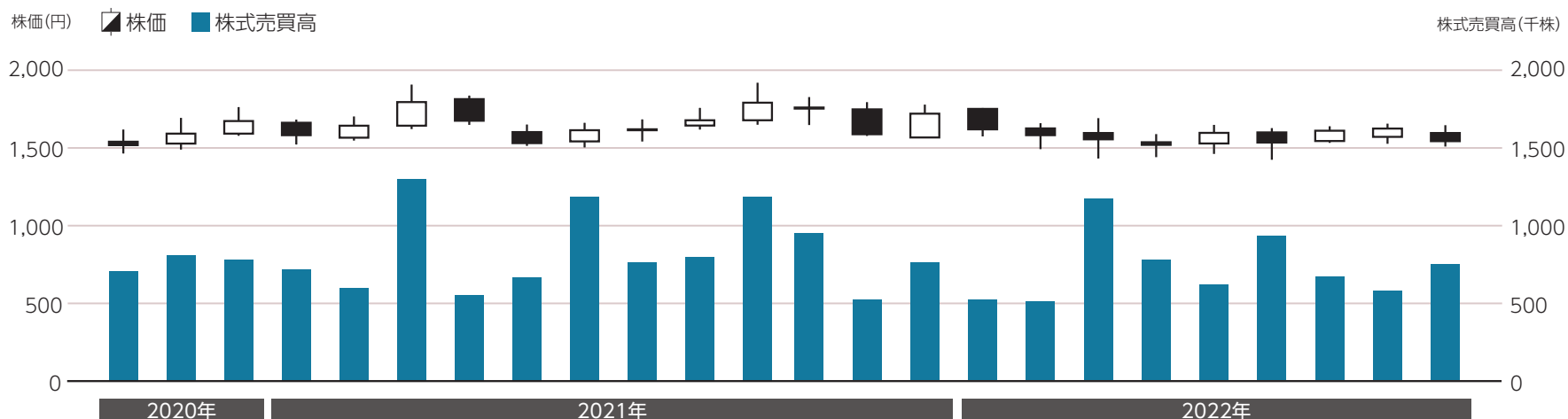


○所有者別株主数の分布状況



株価および株式売買高の推移

(2022年9月30日現在)



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領株主
確定日 3月31日

中間配当金受領株主
確定日 9月30日

定時株主総会 6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777(通話料無料)

上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所 プライム市場

公 告 の 方 法 電子公告により行う
公告掲載URL
<http://www.bond.co.jp/ir/koukoku/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



本 社 / 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-1 TEL 06(6228)2811
関東支社 / 〒338-0832 さいたま市桜区西堀5-3-35 TEL 048(637)9940



見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。



この印刷物は、環境に配慮しFSC®
の認証紙と水なし印刷方式を採用
しています。